



アナログ回線が廃止？

相談事例

自宅に電話があり、「今後、固定電話はアナログ回線から光回線に切り替わる。光回線を使うには工事が必要だ」と言われた。固定電話を使い続けるためには光回線の工事が必要か。

アドバイス

東日本電信電話（株）は、2024年1月に固定電話の回線をアナログ回線から光回線へ切り替える予定です。しかし、この切り替えにより、利用者が自宅内の回線工事を行う必要はありません。現在お使いの固定電話はそのまま利用することができますし、切り替えに伴う手続きも一切不要です。

しかしこれに便乗して、事例のような電話や訪問販売を受けたという相談が発生しています。こちらがよくわかっていないことにつけ込み unnecessaryな契約を結ばせようとする事例も散見されます。また、大手通信業者名を使って信用させる手口も横行しています。アナログ回線から光回線になるからといって、何か契約をしなければならないということは一切ありません。なお、光回線については先の事例の他に「契約内容をよくわからないまま契約を承諾してしまった」「安くなると言われたのに、以前より料金が高くなった」「現在契約している事業者のサービス変更だと思っていたら、全く関係のない事業者との契約だった」「聞いていた説明と違うので解約を申し出たら、高額な違約金を請求された」などの相談が寄せられています。勧誘を受けた際は、事業者名、電話番号などの連絡先を必ず確認しましょう。勧誘されてもすぐに契約せず、現在の契約と比較・検討しましょう。契約内容や料金など、わからないことがあれば事業者に問い合わせ納得するまで確認することが大切です。契約する意思がないときはあいまいな返事をしないではっきり断りましょう。

困ったとき 不安に思ったときは 一人で悩まず まず電話！

消費者ホットライン ☎ 188 (いやや！)

消費生活相談室
☎ 042-384-4999 (直通)